



総合労働協約改訂等交渉 妥結!

本部は、JR四国及びジェイアール四国バスとの間で総合労働協約改訂等の団体交渉を行い、いずれも9月22日に妥結した。長引くコロナ禍により経営環境は厳しさを増し、先行きも不透明な状況ではあるが、会社が掲げた中長期計画達成には「生き生きと働ける職場環境づくり」が必要不可欠であることを強く訴え続けた結果、JR四国においては「年間休日数1日増」をはじめ、先に妥結した契約社員の基本賃金改定と合わせて4項目、ジェイアール四国バスについては「安心して働く環境実現」につながる5項目の制度改善を果たした。

JR四国

JR四国との総合労働協約改訂交渉は、9月16日に3回目、22日に4回目の交渉を行った。《議論を深度化》3回目の交渉では、2回目の交渉で示された会社の考えに対し要点を絞り、「生き生きと働ける職場環境づくり」「賃金や労働時間、休日数の改善」「離職防止や各系統の課題等」「新人事賃金制度の検討」「目指す方向性」の各論点について議論の深度化を図った上で、会社に対し具体策の実現を強く求めた。

《議論を深度化》

- ① 生き生きと働ける職場環境づくり
掲げた目標の達成に向けた具体的な道筋を組合員に示すべき。スピード感を持って臨まなければ、失望感に繋がりがかねない。会社の取り組み、例えば新入社員の地元配属の配慮などは、運用だけでなく制度化などにより、会社の姿勢が伝わるようにしなければならない。
- ② 賃金や労働時間、休日数の改善
省力化・省人化の各種施策により生み出された要員や時間が労働時間短縮、休日数増につながらなければならない。年間休日について「人材確保の観点からも踏み込んだ検討を進める」との考えが示されたが、検討を進めた先には実行を伴うべき。また、これまで制度改善が色々と図られてきたことは認識するが、多様な職種があることから組合員一人ひとりからすれば恩恵を感じにくいことも事実。系統別で議論を行うことも重要である。
- ③ 離職防止や各系統の課題等
組合員は他社の労働条件も意識する。乗務員は拘束時間の長さ、工務系は手当、駅は泊り勤務による負担について改善を望む声が多い。魅力ある職場に改善されなければ、離職も止むがかららない。また、エキスパート社員の会社への貢献の大きさを踏まえ、一時金の係数は撤廃すべき。
- ④ 新人事賃金制度の検討
55歳以降の基本給支給率は、職場を中心的に

ジェイアール四国バス

ジェイアール四国バスとの「総合労働協約改訂等」交渉は、9月22日に2回目の交渉を実施。9月5日に行った1回目の交渉以降粘り強く交渉を継続した結果、組合員が「安心して働く環境実現」に向け、「保存休暇(私傷病による場合)の要件緩和」「コロナに伴う小学校休業等による養育の場合に保存休暇及び看護休暇の適用拡大」「出生時育児休暇」、育児休業の分割取得等の育児介護休業法改正に基づく環境整備」「準組合員(再雇用契約社員)の無給休暇を新設」「準組合員の基本賃金改善」との回答を会社より引き出した。交渉終了後、業務対策委員会を開催。総合労働協約改訂交渉に関して一部ではあるが制度改善が図られたこと等を議論し、これ以上の前進は困難と判断して同日妥結した。(詳しくは、JR四国労働自動車支部ニュースNo.2を参照)

《5項目を改善》

- ① 年間休日数1日増
2023年4月1日より年間休日数が『108日』に！
- ② 年間所定労働時間数『1956時間30分』→『1948時間55分』へ
- ③ 1時間当たり賃金額についても改善が図られる
- ④ 12月30日が祝日勤務手当の対象日に！
- ⑤ 出向特別手当至急の対象範囲拡大！
- ⑥ 発令の事前通知を14日前までに実施！
2023年1月1日以降の人事異動より、発令の事前通知を原則14日前までに実施！
- ⑦ カムバック制度の適用範囲拡大！
勤続5年以上で、やむを得ない理由により退職した社員が、退職後5年以内に再雇用を希望し、会社が認めた場合に再雇用する制度について、適用対象に「育児・介護・看護」に加え「配偶者の転勤(四国島内を除く)に同行」が加わる！
- ⑧ 2022年度の契約社員基本賃金改定！
パートナー社員の基本賃金4,950円上積み！
事務職等、駅勤務者(事務)、販売センター、ワープ支店等(四国)
- ⑨ サポーター社員の基本賃金30円上積み！
駅及びワープ支店勤務者等、事務職等
- ⑩ 適用ランク一部改正！「松山駅を特Aランクに」

【2022総合労働協約改訂等交渉での妥結内容】

◆ジェイアール四国バス◆

◆JR四国◆

- 保存休暇(私傷病による場合)の要件緩和！
・私傷病による場合、「連続4日以上」を「連続2日以上」に改善！
- コロナに伴う小学校休業等による養育の場合に保存休暇及び看護休暇の適用拡大！(2022.4.1以降遡り適用)
・新型コロナウイルス感染症による小学校等(小学校・幼稚園・保育所等)の臨時休業で養育する子(中学校就学の始期に達するまで)に世話をを行う場合、または養育する子が新型コロナウイルス感染症に感染等し世話をを行う場合に保存休暇・看護休暇を適用！
- 「出生時育児休暇」、育児休業の分割取得等の育児介護休業法改正に基づく環境整備！
・出生後8週間以内の子を養育する場合の無給休暇(出生時育児休暇)を新設
・組合員は3歳まで、準組合員は2歳までのうち、連続した一期間2回までを限度に育児休業を取得可能に！
・その他休業期間の繰り上げを可能とするなど制度を拡充・整備！
- 準組合員(再雇用契約社員)の無給休暇を新設！
・無給休暇として業災休暇、通災休暇、私傷病休暇(90日以内)を新設！
- 準組合員の基本賃金改善！
・再雇用契約社員(構内運転係)の甲・乙を統合、最低保証額170,000円に改善！
・再雇用契約社員(構内運転係・デスク・営業係・清掃係)の時給を880円に改善！
・契約社員(営業係等)の時給を880円に改善！
※上記のほか、定年退職者の契約基本賃金の制度整備！
- 年間休日数1日増！
・2023年4月1日より年間休日数が『108日』に！
・年間所定労働時間数『1956時間30分』→『1948時間55分』へ
・1時間当たり賃金額についても改善が図られる
・12月30日が祝日勤務手当の対象日に！
・出向特別手当至急の対象範囲拡大！
- 発令の事前通知を14日前までに実施！
・2023年1月1日以降の人事異動より、発令の事前通知を原則14日前までに実施！
- カムバック制度の適用範囲拡大！
・勤続5年以上で、やむを得ない理由により退職した社員が、退職後5年以内に再雇用を希望し、会社が認めた場合に再雇用する制度について、適用対象に「育児・介護・看護」に加え「配偶者の転勤(四国島内を除く)に同行」が加わる！
- 2022年度の契約社員基本賃金改定！
・パートナー社員の基本賃金4,950円上積み！
事務職等、駅勤務者(事務)、販売センター、ワープ支店等(四国)
・サポーター社員の基本賃金30円上積み！
駅及びワープ支店勤務者等、事務職等
・適用ランク一部改正！「松山駅を特Aランクに」
- ※ 管理者等資格試験(二次試験)について、香川県外からの受験者についてWebを活用した面接の実施を確認！

JR連合結成30周年記念シンポジウム・記念式典開催



新たな時代における鉄道の発展とJR産業の持続的成長に向けた想いを内外に発信

建設的な提言を内外へ発信する機会として3部構成で開催された。



JR連合 荻山会長

JR連合は、10月6日（木）13時30分より、東京都豊島区「ホテルメトロポリタン池袋」にてJR連合結成30周年記念シンポジウムを開催した。JR連合は、国鉄改革の5年後、1992年5月18日に結成。本シンポジウムは、この30周年の節目に、JRの責任差別としてこの間の足跡を振り返り、安全の確立はもとより、ポストコロナの新たな時代における鉄道の発展とJR産業の持続的成長に向けた各種課題の解決に向けた取り組みさらには将来を見据えた

第3回 本部執行委員会開催

9月16日（金）13時30分より、高松センタービル会議室にて第3回本部執行委員会を開催した。

【経過報告】

- （組織）組織の強化・拡大
- （団交）総合労働協約改訂等について（JR四国・ジェイアール四国バス）
- （業務）予土線・江川崎々半駅間における脱線事故の発生について

- ・本四備讃線児島〜宇多津駅間下り線で発生した「レール損傷」について
- ・第1回自動車業務委員会（支部大会）
- ・本社、愛媛、香川、高知、自動車、徳島
- （部会）部会三役会議
- （教育）教育・広報委員会
- （レク）サークル協議会運営委員会
- （共闘）中央交運労協・地方代表者会議（JR連合）

①香川県知事選挙及び徳島市・高松市議会選挙における推薦候補者の

②2022年度準備組合員賃金引き上げの了承承認について

③2022年度年末手当・賞与要求の基本的な考え方について

④職場諸問題の集約について

⑤JR連合第29回賃金実態調査の実施について

⑥JR連合結成30周年記念行事の開催について

⑦四国交運労協第33回定期総会の開催について

⑧交運共済35周年事業について

⑨当面するスケジュールについて

⑩その他

冒頭、JR連合を代表して挨拶に立った荻山会長は「JRは戦後最大の行政改革である国鉄改革を経て誕生し、JRグループの労使が努力を重ね成果を収めてくることができた」と振り返るとともに「JR産業を取り巻く環境は急速かつ大きく変化。地方路線などは厳しい経営状況に置かれ、二島・貨物の経営自立や安全最優先の取り組みは不断に積み重ねていく必要がある。JRは発足から35年以上が経過し、あと2年余りで国鉄時代と同じ期間に達するが、コロナ禍による社会変化の加速により、国鉄改革に並ぶ大転換期を迎えている。今後30年を展望し労使をあげて社会の変化に対応

すべく変革を進めていかねばならない」と問題提起。最後に「JR産業の持続的成長に向けて、責任ある運動を推進する」と決意表明した。

【記念シンポジウム】

第一部では、関西大学宇都宮浄人教授、富山市森雅志前市長より基調講演が行われ、続く第二部ではJR連合より「次なる30年の強くしなやかなJR産業を創る5提言」『ONE TEAM』となり誇りを持って社会に貢献し続けるために」との提言を提起。第三部には宇都宮教授をコーディネーター、パネリストとして森前市長、荻山会長、JR西日本倉坂昇治代表取締役副社長が出席。JR産業の持続的成長について議論を展開した。

各支部青年女性会議の定期委員会は、9月16日の本社支部青年を皮切りに順次開催された。コロナ対策として規模縮小や換気休憩、アルコール消毒やマスク着用などの徹底等対策を講じながら対面で実施。本部青年女性会議第30回定期委員会承認された活動方針に基づき、スローガン案、経過報告、活動方針案を提起。質疑応答を経て、満場一致で全ての議事が承認された。

各支部青年女性会議の定期委員会は、9月16日の本社支部青年を皮切りに順次開催された。コロナ対策として規模縮小や換気休憩、アルコール消毒やマスク着用などの徹底等対策を講じながら対面で実施。本部青年女性会議第30回定期委員会承認された活動方針に基づき、スローガン案、経過報告、活動方針案を提起。質疑応答を経て、満場一致で全ての議事が承認された。



鏡割りを行うJR連合荻山会長（左）、JR四国西牧社長（中央）、JR九州古宮社長（右）

徳島支部青女

議長 吉松 和哉
副議長 戸村 佳永
事務局長 渡部 京介
角南 厚志郎

9月27日（火）シビックセンターにて

愛媛支部青女

議長 近藤 正之
副議長 渡邊 亮輔
事務局長 湯浅 健太郎
武田 裕治

10月2日（日）松山市総合コミュニティセンターにて

香川支部青女

議長 今田 颯一
副議長 酒井 翔司
事務局長 前田 春蔵
土井 隆之介

10月8日（土）ホテルアネシス瀬戸大橋にて

多度津運動区分会

2022年爽やかゴルフ大会
多度津運動区分会では、5月23〜26日の4日間、まんのう町のサンライズヒルズカントリークラブにおいてゴルフ大会を開催しました。

いづれの日も春先を思いやるような穏やかな陽

本社支部青女

議長 三木 和仁
副議長 瀧岡 拓真
事務局長 平井 優太
衛藤 克

9月16日（金）本部事務所にて

高知支部青女

議長 芝 翔太
副議長 高杉 颯之介
事務局長 長谷 力
豊島 勇貴

10月9日（日）統合事務所にて

レク・サークルだより

2022年爽やかゴルフ大会
多度津運動区分会では、5月23〜26日の4日間、まんのう町のサンライズヒルズカントリークラブにおいてゴルフ大会を開催しました。

いづれの日も春先を思いやるような穏やかな陽

香川県協議会

政策セミナーを実施
JR連合香川県協議会は、6月25日にホテルアネシス瀬戸大橋にて政策セミナーを開催しました。

Zoomで国民民主党代表 玉木雄一郎衆議院議員、川合孝典参議院議員候補、川合孝典参議院議員、森安祐貴産業政策局長にご参加いただき、41名の組合員と共に意見交換会を行いました。

はじめに杉本議長が挨拶を行い、山本県議、大西市議、「交通重点政策2022」を手交。

玉木代表、川合参議院議員候補、山本県議、大西市議、森安局長より講話を受けた後、参加した組合員からは四国新幹線

高知電気区分会

バーベキュー大会開催！
高知電気区分会では、2022年7月9日〜10日の2日間、分会の交流及び活性化のため、「四万十川」の駅「カヌー館」にてレクを開催し、12名が参加しました。

当日は雨天のため、川遊びは残念ながら断念しましたが、四万十川を一

第1回 ドッチビー大会

を開催します！

日時 12月11日（日）13:30集合

場所 高松市西部運動センター 香川県高松市 鬼無町鬼無10番地2

※お申込みは各支部まで！

愛媛保線分会
兵藤 道清

高知電気区分会

バーベキュー大会開催！
高知電気区分会では、2022年7月9日〜10日の2日間、分会の交流及び活性化のため、「四万十川」の駅「カヌー館」にてレクを開催し、12名が参加しました。

当日は雨天のため、川遊びは残念ながら断念しましたが、四万十川を一

愛媛保線分会

夏季レク（BBQ）開催！
愛媛保線分会は、7月22日に西条駐在の若手組合員5名で、夏季レクとして水の都西条、加茂川でのBBQを計画し、山には黒い雲も出てきたため、河川敷でのBBQは危険と判断し、急遽加茂川近くの組合員の庭で安全に楽しんでいました。

今回のレクレーションにより、西条駐在組合員の親睦を深め、団結力を強化できました。これからも愛媛保線分会、様々な活動に積極的に取り組んでいきます。

片山 文弥